

【9月27日の大集団通過についての見方】

2008年9月29日 池上武比古

権現山上空を通ったのは東京・横浜・厚木横断組か？

われわれの最大関心であるタカ渡りルートについて、27日の権現山通過集団のことを聞いて「はたっ」とひらめいた。

これまでの権現山観察では、サシバは出てもばらばらで、ルートを解明しようにも、その手立てがなかったのだが、27日11:21のサシバ9羽、12:25の60羽は手がかりになる。というのは、関東地域タカ渡り情報交換会のMLや、タカの渡り全国ネットワークHPで、毎日の集計を見ると、およそのことでどこから来たのかが分かるのである。

この日の動きを見ると、まず北方の八王子の方は一番多い陣馬山で54羽(時間別集計不明)、所沢北野で79羽、東京都瑞穂町・六道山は一日で258羽、時間別集計では11時前後の20羽前後を数えているが、いずれも飛行方向の基本は大体西である。また、この日これらの飛行の受け口となる厚木市・荻野運動公園での観察では、ばらばらとサシバを確認したが、せいぜい5羽程度だから、見逃しがあつたとしても、権現山集団は丹沢東麓を通過している可能性は少ない。

とすると、次にチェックすべきは武山、峯山など三浦半島の付け根を通過する相模湾勢だが、この日の富津岬越えは記録的であり、それを受けた武山はサシバ156羽を数えているけれども、時間別を見るとほとんどが1,2羽のばらばら、多くて10羽程度である。

もちろん、どこかでサシバが集合して「せーの」と飛び始めることはあるかもしれないが、60羽の集団となると考えにくい。そうすると、残りの可能性は関東平野のど真ん中を通過してくるサシバ集団がいるのか、ということになる。そのヒントは、重厚な調査をしている千葉県・印旛沼で調査している稲敷グループの結果。

稲敷ではこの日、7時半から12時までの調査で、60羽のサシバが南西に向かっている(時間別集計なし)。これをそのまま南西に伸ばせば、東京ということになる。それに、関東調査グループの難点は、茨城西部、栃木、群馬東部のカバーがないことだが、これら未知の領域から飛来したのが、権現山集団と考えられないだろうか。

権現山(標高620m)で観察していた長井さんの言うように「上空2000m位を巡回していて、頭上遥か目で放すと見失う高さ」だとすると、この集団は権現山からかなりはなれたところで上昇気流に乗ったのだろうが、そうだとするとそれはどこなのか。荻野からもかなり南に離れたところだろう。

昨年秋、菜の花台で観察していると、荻野から東5キロはあろうかという座間・谷戸山公園から「サシバが10羽以上西に飛んでいった」と携帯連絡があつて唖然としてことがある。座間の上を八王子からの南下勢が飛ぶことは考えられないから、「これはきっと東京横断組だろう」と思ったのだが、27日の権現山勢も同類ではなかろうか。

吉邨隆資さんのコメント

私の一番の関心事は「東京都心部を大量にタカが渡っているはず」なのです。茨城からの移動方向を聞くと新宿の副都心ビルの方と言われますます「飛んでいる!」と思った次第です。都心部はヒートアイランド現象で相当の熱量が有ります。以前たしか広島だったと思いますがこの市街地の上昇気流を

利用して渡りをするとの記述を目にしたことが有ります。実際に都心部でも観察例が有りますが、運良く見つける程度で見える気になってもなかなか難しいです。

その一例で丁度各地で大量に渡った日に東京都中野区で観察できた例と過去の観察例を添付します。添付例で水色の部分は東京西部、八王子方面に行くよりはもっと南に飛んで行くのではと考えられる例です。

- > 東京都中野区新井 平和の森公園
- > 2006年09月24日 9:00~12:00 ほぼ快晴
- > 北の風 11:00頃から上層の雲だけ北に流されるようになった。
- >
- > 9:50 サシバ 1 ENE 高度50 SSW 高度 200
- > 11:05 サシバ 2 SSE 高300 1羽はE もう1羽はSE
- > 11:10 サシバ? 1 N 高500 W
- > 尾の長めのタカ 遠くて識別できず
- >
- > 肉眼では最初の1羽を除き発見が困難で、双眼鏡でなめ回した結果から
- > すると上々だと思います。

森要さんのコメント

茨城県印旛沼の稲敷グループの報告によると、稲敷から南西に移動したサシバの多くは利根川を越え、千葉県側の印旛沼東部で把握され、さらに千葉市南南西に記録が多く、最終的には千葉県の富津岬に行くのではと推定しています。昨年の神奈川支部報によると、サシバはできるだけ緑地の繋がりの上を移動するらしいともあり、一気に大東京を横断しないのかもしれませんが。

長井健樹さんのコメント

大都会の巨大な熱量は上昇気流を生み出していないだろうか、だとしたら関東平野横断は苦もなく実現可能なような気がする。また曇天で上昇気流のない日が続くときは山肌を縫いながら小まめに中継点を繋ぎ好天を待ちながら 西に向かうという仮説はどうでしょうか。